

実践、実務で使える、EXCEL で始める実際原価計算

儲かる実際原価計算

説明書

初版 2017年7月1日

製品概要

製品名称：儲かる実際原価計算

製品バージョン：1.0

動作環境：Microsoft Excel

本製品は、「工程別〔加工費〕実際原価計算」です。

実際に発生した費用から、製品1個の原価を算出するツールです。

「実践、実務で使える、EXCELで始める実際原価計算」をキャッチフレーズに、「簡単に始めてみる」ことを重要視しています。

自社のコスト、原価の実力が分かるため、儲かるための改善に繋げることができます。

（いったい、自社の製品は、幾らで出来ているのか？ が明確になります）

「実際原価が分かる」とは、問題解決やQCストーリーでいう「現状把握」と同じで、全社レベルの現状把握を行うことです。

「儲かる実際原価計算」による、改善までのステップ

1. 実際に発生した「加工費」を対象に、「工程別」に原価を集計し、製品1個の原価を算出します。
2. 製品1個の原価から、製品1個の利益を算出し、製品毎の利益と得意先毎の利益を計算します。
3. 計算結果から、儲かっている（又は、赤字）製品、儲かっている（又は、赤字）得意先が分かります。
4. 儲かっていない、赤字の得意先、製品、工程を対象に、要因を調査します。
5. お客様への見積り方法の改善、IE（インダストリアル・エンジニアリング）、TPSなどによる現場改善、標準原価の設定など、改善を実施します。

※本製品の範囲は1～3が対象です。4、5は別の製品又は、web等で情報提供を行います。

ご注意

- **原材料の材料費と外注加工費は、対象外**となっております。(加工費を工程別に計算します)
- 「簡単」「実務で使える」「実力把握」をキーワードに、工程間の在庫は無いものとして、計算します。よって、「総平均」や「先入れ先出し」の計算は、含まれておりません。
(この「在庫」を原価計算の対象にするため、実務での導入、運用を難しくしています)
- 当然ですが、本製品の購入、導入による、儲かるを保証しません。
(儲かるためには、適切な改善が必要です)
- 同業者(原価に関する製品を販売する会社やコンサルタント)への、本製品の販売は行いません。

本製品の対象者

- 中小企業の製造業 (自社の環境により、運送業、サービス業にも適用が可能です)
- 原価計算を勉強したい、社会人、学生
- 上場企業、大企業で、一部のラインや工程の実力を把握したい方

著作権

本製品の著作権は、「儲かる原価とIT」、その「管理人」にあります。
本製品を無断で、複製、流通、転売など、一切の行為を禁止します。

目次

<はじめに>	- 5 -
①情報、データの分類	- 5 -
②使用している主な関数	- 5 -
③印刷時のご注意	- 5 -
④最大データ量（取扱い量）	- 6 -
⑤セルの背景色、合計行、シートの保護	- 7 -
<準備編>	- 10 -
■「儲かる実際原価計算」に必要な情報一覧	- 10 -
0. 工程レイアウト図	- 11 -
①工程レイアウト図（参考イメージ）	- 11 -
②工程レイアウト図の（参考）実物写真	- 12 -
③工程レイアウト図に記載する内容	- 12 -
1. ライン・工程 一覧	- 13 -
2. 製品 一覧	- 14 -
3. 得意先 一覧	- 14 -
4. 全社損益	- 15 -
5. （直接）減価償却明細	- 16 -
6. 生産実績	- 17 -
7. 売上実績	- 18 -
<準備編のまとめ>	- 19 -
<計算編>	- 20 -
はじめに	- 20 -
■原価計算、利益算出の順序	- 20 -
8. 工程別原価計算	- 21 -
①工程別原価計算と他のシートとの関係	- 21 -
②工程への費用配賦（概要）	- 21 -
③工程別原価計算	- 24 -
9. 工程・製品別原価	- 27 -
10. 製品別原価	- 28 -
11. 得意先・製品別損益	- 29 -
12. 製品別損益	- 31 -
13. 得意先別損益	- 32 -
<お問い合わせ>	- 33 -